

# 要 請 文

丸山知事には、平素から県内11町村の振興に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

思えば早いもので、丸山知事が知事に就任されてから、3年半が過ぎようとしております。

丸山知事は、「現場主義」と「県民目線」に徹し、「石見の日」や「隠岐の日」を設けられ、中山間地域や離島へも積極的に足を運んでいただきました。そして、地域の住民や私ども町村長とも膝を交えて親しくお話しいただきましたことは、多くの県民が知るところです。

県政運営においては、就任早々「島根創生計画」を策定され、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を目指し、全力で取り組んでこられました。特に、小学生までの医療費の無料化や放課後児童クラブの充実、農林水産業の振興に積極的な支援をいただきました。

また、昨年4月には、私ども中山間・離島地域では財政運営の基盤となる新過疎法の制定や過疎債の総額確保、優先配分の仕組みづくりにご尽力をいただきました。

さらに、昨年8月に県内各地で甚大な被害をもたらした集中豪雨災害や、近年連続して発生した江の川流域の浸水被害の復旧・復興に対しても、いち早くご支援をいただきました。

このほか、高速道路や江の川下流域治水事業などのインフラ整備、医師確保などの地域医療支援、高校の魅力化、離島振興など、多くの課題に全力で取り組まれましたことは、私ども一同、高く評価するとともに心から感謝申し上げます。

一方で、戦後最大の危機といわれる新型コロナウイルス感染症については、令和2年4月の緊急事態宣言の発令から現在の第7波まで3年近くにわたって、県民生活や県内経済、企業活動に深刻な影響を及ぼしております。

丸山知事はこの間、感染症対策として疫学調査やPCR検査、学校に

対する休校要請、ワクチン接種の促進、医療提供体制の確保などに積極的に取り組まれました。また、飲食業者や観光業者に対する支援や中小企業への資金繰り対策など、県単独制度も大幅に拡充され、手厚い支援をしていただきました。

特に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、私ども人口が少ない町村にも手厚い支援が受けられるよう国に対し、強く働きかけをしていただきました。

このように丸山知事は、私どもの多くの要望を真摯に受けとめられ、暖かいご配慮をいただくとともに、強いリーダーシップを発揮され、県民に対する丁寧な説明はもとより、国に対しても島根県の立場をしっかりと主張される姿に、強い頼もしさを感じているところであります。

町村は、いつの時代にあっても住民生活の場としてだけでなく、豊かな里、山、海を守り育み、伝統文化を継承することはもとより、食料の供給、水源涵養、県土の保全などに重要な役割を担い続けています。

しかしながら、私どもは地域の振興に懸命に取り組んでおりますが、若年層の人口流出や高齢化により、地域コミュニティの維持や買い物などの日常生活に必要なサービスの確保さえも、困難な状況になりつつあります。

こうした中で、丸山知事には、これからも町村に寄り添い、先頭に立って、人口減少に歯止めをかけ、町村の維持・発展のため、誠心誠意取り組んでいただけるものと大いに期待しております。

そして、私ども町村長は、町村の未来にとって、確かな展望を持って県政を進められるリーダーは、丸山知事をおいて他にはないものと確信しております。よって、本日開催しました町村会臨時総会において、満場一致で丸山知事をご支援することを決定いたしました。

丸山知事におかれましては、どうか、私どものこうした意をお酌み取りいただき、今後とも島根県発展のため、来春の知事選挙に是非ともご出馬されますよう、ここに連名を持って強く要請いたします。

令和4年10月18日

## 島根県町村会

会 長(津和野町長)	下 森 博 之
副会長(海士町長)	大 江 和 彦
副会長(飯南町長)	塚 原 隆 昭
奥出雲町長	糸 原 保
川本町長	野 坂 一 弥
美郷町長	嘉 戸 隆
邑南町長	石 橋 良 治
吉賀町長	岩 本 一 巳
西ノ島町長	升 谷 健
知夫村長	平 木 伴 佳
隠岐の島町長	池 田 高 世 偉